

青少年教育施設の事業案内

長期休業を利用して、心に残る自然体験を

福島県海浜青年の家、郡山・会津の各少年自然の家は、海浜や山野の自然の中で生き生きとした野外活動や集団宿泊生活を通じ、施設の特色を生かした活動、利用団体のねらいに合った活動の展開及び、特色ある主催事業の開設等によって、

- ・ 自然や人を愛する豊かな心を持つ
(自主性、創造性の育成)
- ・ みんなと協力し、助け合い、励まし合う(社会性、連帯感の育成)
- ・ たくましく、健康で、楽しく活動する、働くことに喜びを見いだす(心身の健康と実践力の育成)



ボクがつかんだこのイワナ うまそうだなあ
(自然に親しむ少年のつどい)

県立青少年教育施設 夏の事業あんない

施設名	開催事業名	対象者	実施期間・期日	実施の目的	受付期間	主な実施内容
海浜青年の家	高校生・海浜のつどい	県内在住の高校生 40名	8月7日(火) ～8月9日(木) 2泊3日	・海浜における共同生活の体験を通して、高校生に夢と感動を与えとともに、青年期の生き方を考えさせ社会参加への心構えと向上心を持った心身に豊かでたくましい青年の育成を図る。	7月上旬～ 7月下旬	・高校生フェスティバル、 ・講演と討論、*海洋活動(砂の芸術、カヌー・ヨット、海水浴)、スコアオリエンタリング、他
	親子・海浜のつどい	県内在住の親子 (小学生とその親) 100名	7月27日(金) ～7月29日(日) 2泊3日	・親子で大自然に親しみながら、海浜でのレクリエーションや共同生活を体験して望ましい親子関係を深める。	6月下旬～ 7月中旬	・海浜活動(海水浴、砂の芸術、キャンプファイアー) ・*野外活動(野外炊飯、スコアオリエンタリング)
郡山少年自然の家	自然に癒える少年のつどい	県内小・中学校からの推薦および公募した小学5年生以上の児童生徒 35名	7月26日(木) ～7月29日(日) 3泊4日	・夏の大自然の中でキャンプ生活や野外活動を通してたくましく生活できるようにし、あわせてリーダーとしての素地を養う。	6月21日(木) ～7月7日(土)	・*すまいづくり、野外炊飯、 ・*登山、夜店、ウオークラリー、その他野外活動、
	親子キャンプのつどい	県内在住の小・中学生とその親または成人を含む数人単位のグループ 定員 130名	8月3日(金) ～8月5日(日) 2泊3日	・テントによるキャンプ生活や自然散策、キャンプファイアーを囲んでの楽しい語りを通して、親子のふれあい、他家族との交流・親睦を図る。	6月28日(木) ～7月27日(金)	・*野外炊飯、キャンプファイアー、*テント設置、フィールドワーク、野外活動他
会津少年自然の家	自然に親しむ少年のつどい	県内の小学5年生以上、中学生まで 児童生徒 80名	8月2日(木) ～8月5日(日) 3泊4日	・自然中での生活体験を通し、自然と調和して生きる方法や技術を身につけるとともに、たくましい心と身体を培う。	6月下旬～ 7月20日(金)	・*キャンプファイアー、野営、 ・*すまいづくり、魚つかみ、川遊び、その他野外活動
	親子キャンプのつどい	県内に在住する小学5年生以上の親子または親子グループ 定員 60名	7月21日(土) ～7月22日(日) 1泊2日	・親子によるキャンプ生活を通して、親子のふれあいおよび他家族との交流を図り相互の親睦を深める。	6月上旬～ 7月14日(土)	・*野外炊飯、キャンプファイアー、*テント設置、交歓会など

電話：海浜青年の家 0244(33)5224 郡山少年自然の家 0249(57)2111 会津少年自然の家 0242(83)2480

などを身に付けた青少年の育成を目指して運営されています。
実際の利用に当たっては、より少ない経費で(使用料は無料、食事代、寝具のせんとく代は実費)、より安全に(指導体制や安全対策面の充実、内容・方法を工夫した、より楽しい活動

原稿を募集します

「教育福島」
本誌「教育福島」の「告知板」の中に読者の欄「ひろば」を新しく設けます。

「ひろば」では、読者の皆様から提供いただいた情報を簡潔な形で紹介します。

行事への参加呼び掛け、教育実践に役立つ情報、学校や地域での明るく楽しい話題などを、次の要領でお寄せ下さい。

内容 読者の身近にある情報等で本誌を通じて広く知らせることが適当であるもの
分量 一件につき、百字～百五十字
応募期日 平成二年七月一日～平成三年一月三十一日
採用分の掲載は一～二か月後になります

宛て先 960福島市杉妻町二十六
県教育庁総務課広報係
☎0246(33)222内線三九一
六

その他 掲載に当たっては記名を原則とします。
お預かりした原稿はお返しいたしません。